

## 付表H. 安全データシート SDS

安全データシート（SDSs）は、以前は化学物質等安全データシート（MSDSs）と呼ばれていました。SDSsは化学品に関する重要な情報を与えてくれ、リスク評価や、人間の健康や環境を守るための管理を確立するために使われます。さらに、SDSはサプライヤーが制限物質の問題を回避するために役立つ規制や成分レベルの重要な情報を含んでいます。

### 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）に基づいた安全データシート

SDSsにはさまざまなフォーマットがあります。AFIRMでは、サプライヤーに、化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）を使っている化学品サプライヤーから、高レベルのSDSsを入手するようアドバイスしています。GHSは、国連により管理された広く受け入れられた世界標準であり、各国の規制と組み合わせられ、最も包括的な情報を提供してくれます。

SDS ファイルの例や各 SDS セクションの詳細なドキュメントなどの追加情報については、「Outdoor Association's Chemicals Management Guide & Training for Manufacturers (アウトドア協会の化学物質管理ガイドおよびメーカー向けトレーニング)」をご覧ください。このドキュメントの 40~44 ページには、安全データシートに関する詳細な情報が記載されています。このガイドは以下からご覧いただけます。[https://cdn.manula.com/user/10559/11844\\_12661\\_en\\_1497037271.pdf?v=20181002032847](https://cdn.manula.com/user/10559/11844_12661_en_1497037271.pdf?v=20181002032847)

### 安全データシートの限界

SDSsは説明しようとする特定の化学物質だけを示しています。したがって、製品の製造に使われる化学物質を示すSDSは、必ずしも最終製品そのものにも適用できるとは限りません。

例えば、シャツの色を変えるためにインクが用いられますが、インクの化学物質の多く(量的)は、製品が上市されるまでに洗い流されるか、蒸発する可能性があります。さらに、化学品混合物におけるSDSでの警告については、1% (その化学物質に発がん性がある場合は0.1%) を超える化学物質のみを開示する必要がありますということです。これは事実上、特定の化学物質の使用に関するリスクを、完全に理解できていない恐れがあります。したがって、SDSは、製品を作るために選んだ化学物質が記されている文書であるものの、最終製品に存在する可能性のある化学物質を正確に文書化するためには、製造プロセスを理解する追加の専門知識が必要です。

## 重要なセクション

SDSは豊富な情報を含んでいる内容の濃い文書です。しかし、特別な注意を払う必要のある項目があります。図9にこれらの項目を強調表示しています。

- A** 過去3年以内のバージョンの日付
- B** 製品について質問がある場合のサプライヤーの連絡先情報
- C** 迅速なリスク評価を可能にする危険有害性情報
- D** ピクトグラム。労働者に明確に危険を知らせるために、現場でラベルに使用できる。
- E** 成分の一般名。化学物質をさらに調査するために使われる。
- F** 各成分の濃度。サプライヤーが相対的なリスクを判断するのに使われる。
- G** 化学品成分のCAS番号。製品に関連した最新の法規を調査するのに役立つ。
- H** 成分レベルの危険性。相対リスクを決定するために濃度とともに使われる。

SDSsの形式はさまざまですが、AFIRMのサプライヤーは、ここに示すような形式のSDSを化学品のサプライヤーに要求するのが良いでしょう。

図9. 安全データシートの重要な要素

**SAFETY DATA SHEET**  
Version 5.7  
Revision Date 11/07/2017  
Print Date 08/23/2018

**1. PRODUCT AND COMPANY IDENTIFICATION**

**1.1 Product identifiers**  
Product name : Mineral oil standard mixture Type A and B for EN 14039 and ISO 16703  
Product Number : [Redacted]  
Brand : [Redacted]

**1.2 Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against**  
Identified uses : Laboratory chemicals, Synthesis of substances

**1.3 Details of the supplier of the safety data sheet**  
Company : [Redacted]

For the full text of the H-Statements mentioned in this Section, see Section 16.

**2.2 GHS Label elements, including precautionary statements**  
Pictogram : [Flammable, Health Hazard, Exclamation Mark, Environment] **D**  
Signal word : Danger  
Hazard statement(s)  
H225 Highly flammable liquid and vapour.  
H304 May be fatal if swallowed and enters airways.  
H315 Causes skin irritation.  
H336 May cause drowsiness or dizziness.  
H351 Suspected of causing cancer.  
H410 Very toxic to aquatic life with long lasting effects.  
Precautionary statement(s)  
P201 Obtain special instructions before use.

**3.2 Mixtures**

Hazardous components			
Component		Classification	Concentration
<b>Heptane</b>			
CAS-No.	142-82-5	Flam. Liq. 2; Skin Irrit. 2;	90 - 100 % <b>F</b>
EC-No.	205-583-8	STOT SE 3; Asp. Tox. 1;	
Index-No.	601-008-00-2	Aquatic Acute 1; Aquatic Chronic 1; H225, H304, H315, H336, H410	
<b>Fuels, diesel, no. 2</b>			
CAS-No.	68476-34-6 <b>H</b>	Flam. Liq. 4; Carc. 2; STOT	0.1 - 1 %
EC-No.	270-676-1	SE 3; Asp. Tox. 1; Aquatic	
Index-No.	649-227-00-2	Acute 2; Aquatic Chronic 2; H227, H304, H336, H351, H411	